

地域の農業を守り、堅実な

経営をしていきたいと思っています

設立のきっかけ

農事組合法人おおさわは、大沢集落の18戸で構成されており、集落全体の農地21haで「あきたこまち」や大豆、枝豆やネギを栽培しています。地域の将来のために集落の農家で議論を重ねた結果、同地区の基盤整備を契機に地域でひとつになつて農地を守っていくことと法人を立ち上げることになり、平成17年から始動しています。

直行配送と生産拡大

昨年度からJAの担い手支援室の勧めもあり、肥料や農薬の直行配送を利用しています。そのおかげで従来と比べておよそ30万円のコストを抑えることができ、そのぶん

圃場に土壌改良材を投入し、JA独自加算の対象となる「こだわり米」を栽培することで農業収入の増加に繋がっています。土壌改良材の投入が功を奏し、昨年は収量がよかつたことがうれしかつたですね。今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。

法人集約による 堅実経営

法人を設立したことによって個々で所有していた農機を集約することができ、経費の節減に繋がっています。また、昨年の秋に事務所兼作業所を新築して、直行配送された肥料や農薬を保管しているほか、集落の複数箇所にあつた乾燥機を集約して設置し、効率化に努めています。

ます。コストを削減できるところは限られていますから、これからも地域農業の保全のために、堅実な経営をしていきたいですね。

肥料・農薬の直行配送

水稲用の肥料・農薬をメーカーや全農秋田県本部倉庫から一定の条件を満たす経営体※へ直接配送し、削減した運送コストを資材価格に反映しているサービス。平成30年度分から始まっており、一度に多くの量が納品されるために保管場所の確保が必要ですが、予約価格より安価での供給となるため、生産コストの削減に繋がります。

※4トン以上のトラックで荷降ろしができる施設・設備を有し、作付面積が15ha以上の担い手・経営体。

